

学校における働き方改革 幕別町アクション・プラン(第3期) **【概要版】**

I はじめに

学校における働き方改革は、教員自身がこれまでの働き方を見直し、子どもたちと向き合う時間や自らの学びを深めるための時間を確保することで、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現につながるもの。

II これまでの取組の成果と課題

町教委はこれまで「在校等時間の客観的な計測・記録と公表」、「メンタルヘルス対策の推進等」など6項目を重点的に実施する取組として推進してきたほか、調査業務等の見直し、学校行事の精選・見直し等の取組を進めてきた。

こうした取組により、教員の時間外在校等時間の状況は改善が見られるものの、依然として長時間勤務の教員が見受けられる。

<小学校>

年度別	時間外在校等時間別割合				全職員 平均時間	前年比
	45時間以内	46時間～ 80時間以内	81時間～ 100時間以内	101時間以上		
令和3年度	89.4%	8.9%	1.2%	0.5%	21:47	—
令和4年度	91.2%	7.8%	0.9%	0.0%	20:30	▲1:17
令和5年度	90.8%	8.7%	0.5%	0.1%	20:39	0:09

<中学校>

年度別	時間外在校等時間別割合				全職員 平均時間	前年比
	45時間以内	46時間～ 80時間以内	81時間～ 100時間以内	101時間以上		
令和3年度	75.9%	21.9%	2.1%	0.1%	32:55	—
令和4年度	80.6%	18.9%	0.6%	0.0%	28:55	▲4:00
令和5年度	82.3%	16.6%	1.2%	0.0%	27:55	▲1:00

III 第3期アクション・プランの基本的な方針

学校における働き方改革の目的は、「教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」である。

働き方改革の理念を実現するため、アクション・プラン策定以降の教育を取り巻く状況の変化を的確に反映させるとともに、これまでの取組の成果や課題を踏まえた新たなアクション・プランを策定し、より実効性の高い働き方改革を推進していく。

【目標など】

【目標】

教育職員の「時間外在校等時間」を、1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。

【目指す姿】

教員一人ひとりが、「変わってきた」と実感できる働き方改革の推進

【取組期間】

令和6年度から令和8年度までの3年間

【重視する視点】

【改革を『自分事』に】	ワークライフバランスを意識した働き方を追求し、教職員のウェルビーイングの向上と、子どもたちの学びの伸長
【『自走』するチーム】	未来につながる教育活動の実現を目指し、対話を通して、学び合い・支え合うチームを構築
【地域との『協働』】	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図り、地域・保護者・教職員の参画と熟議でバランスある分担を実現

IV 第3期アクション・プランの具体的な取組

Action	具体的な取組 【重点】 : 重点的に実施する取組)
1 校務の効率化と役割分担の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの活用による校務効率化の推進 【重点】 ○保護者・地域等との連携協働 【重点】 ○専門スタッフ等の配置促進
2 部活動指導に関わる負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動休養日等の完全実施 【重点】 ○指導・運営に係る体制の構築 ○大会等に係る負担の軽減 など
3 学校運営体制の見直しなどによる改善	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭の業務縮減 【重点】 ○学校行事の精選・重点化 ○適切な教育課程の編成・実施 など
4 意識の変容を促す取組	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革の意識を高める取組の推進 【重点】 ○ワークライフバランスを意識した働き方の推進 ○働き方改革に関する研修の実施 など
5 学校サポート体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルス対策の推進等 【重点】 ○トラブル等に直面した際のサポート体制の構築 ○調査業務等の見直し など